



石本耕治

小児科医歴 47年
「いつもやさしく丁寧な診療」がモットー!!

猛暑が続いています。



7月は猛暑日の連続でした。8月もまだまだ暑い日が続きます。この暑さと熱中症への対策をしっかりしましょう。室温は気もちの良い温度にし、涼しい衣服で過ごし、十分な水分補給を忘れず、この夏をのり切りましょう。今年も「熱中症」について掲載しました、参考にして下さい。

現在流行している病気



- ◎ 手足口病
- ◎ アデノウイルス感染症
- ◎ ウィルス性胃腸炎(嘔吐、下痢症)
- ◎ ヘルパンギーナ

※ とびひ、あせも
シャワーなどを使って皮ふを清潔にしてからお薬をぬりましょう。

8月の乳幼児健診は、

21日(火) 14:00 ~ 15:00 に行います。
母子手帳をご持参ください。
健診料 ¥1,800 別途料金になります。



3/1よりアレルギーの検査は、下記の時間といたします。

- 第一火曜日 (15時 ~ 16時)
- 第二火曜日 (15時30分 ~ 16時)
- 第三火曜日 (15時 ~ 16時)

ご希望の方は必ず電話連絡の上ご来院下さい。
* 先生の都合により直前に時間を変更することがあります、ご了承ください。

お盆休み

8 / 11(土) ~ 8 / 15(水)



熱中症

暑い日に閉めきった車の中で寝かされていた赤ちゃんが亡くなったり、炎天下の下でサッカーをしていた小学生が次々と倒れたりなど、これまで「日射病」「熱射病」と呼ばれていたものをまとめて「熱中症」といいます。



◎ 症状と手当て

めまいがする、顔色が悪い
頭が痛い、おなかが痛い、
吐く、足などのこむらがえり、
全身がだるい



涼しいところへ移して
風を送り、イオン飲料
を飲ませる。

しばらくたっても回復
しなければ病院へ!
危険信号!!
病院へ連れていく!

ふらふらしている
ぼーっとしている



倒れて意識がない
けいれんを起こした



命の危険がせまっている
救急車を呼ぶ!

予防がもっとも大切

- ① 帽子をかぶり、風通しよく涼しい服装を
- ② 炎天下での激しい運動を避ける
- ③ 汗で失われた塩分と水分を補給する
- ④ 寝不足など体調不良のときは運動を避ける
- ⑤ 車中に赤ちゃんを置き去りにしない!
- ⑥ ベビーカーは地面からの照り返しで暑い!



いしもと先生の 7月の夜間小児救急当番日
8 / 17 (金) 場所: 公立八女総合病院
時間: 午後7時~午後10時

午後からの診療時間変更の日
8 / 1 (水)
看護学校講義のため
先生不在となり、午後の診療は3時からとなります。